安佐南区まちづくりアクションプラン

（令和７年度〔2025 年度〕～令和１２年度〔2030 年度〕）

令和７年（２０２５年）３月

広 島 市 安 佐 南 区

≪目　次≫

１　はじめに
（1）　安佐南区まちづくりアクションプラン策定の趣旨 ・・・・・・・・　１
（2）　計画期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（3）　アクションプランの位置付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（4）　アクションプランの推進に当たって ・・・・・・・・・・・・・・・　１

２　安佐南区の現状と課題
（1）　現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
（2）　課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

３　安佐南区のまちづくりの方向性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

４　各まちづくりの方向性に基づく取組内容
〇まちづくりの方向性１
　地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり ・・・・・・・　８
〇まちづくりの方向性２
　みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり ・・・１０
〇まちづくりの方向性３
　自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり ・・・・・・・・・１４
〇まちづくりの方向性４
　地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり ・・・・・・・・１６

５　資料編
（1）　安佐南区コミュニティ交流協議会　構成団体 ・・・・・・・・・１８
（2）　安佐南区コミュニティ交流協議会　開催状況 ・・・・・・・・・１８

≪安佐南区のシンボルマークについて≫

　ペン先は、文化と教育を育てる区民を、また両手を高くあげ手と手をつないでいる人の姿は、区民の融和と協調を象徴しています。
　円は、永遠の平和と幸福を、全体の形は王冠を意味し、安佐南区の永遠の発展を表したものです。

1　はじめに

(1)　安佐南区まちづくりアクションプラン策定の趣旨

安佐南区では、区役所が住民に身近な行政窓口の役割を担うとともに、区まちづくり支援センターを中心に、地域の特色を生かしながら、住民のみなさんの思いをより反映したまちづくりを進めることにより、住みやすさ・暮らしやすさを実感できるまちの実現を目指しています。

そこで、令和２年６月、学識経験者や地域団体、ＮＰＯ法人、事業者等で構成した「安佐南区まちづくり懇談会」での意見を踏まえ、住民と区役所等が協働して取り組むまちづくりの具体的な計画として「安佐南区まちづくりアクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）を策定していました。この計画期間が令和６年度に満了することから、人口等の統計データを更新するとともに、「安佐南区コミュニティ交流協議会」での意見等を踏まえ、住民を主体としたまちづくり活動の具体的な取組内容を更新し、アクションプランを改定します。

なお、まちづくりの方向性（「３　安佐南区のまちづくりの方向性」で後述）については、計画期間を令和１２年度までとする第６次広島市基本計画において定めているため変更しません。

(2)　計画期間

令和７年度（2025 年度）から令和１２年度（2030 年度）までの６年間とします。

なお、各取組の進捗状況については、随時、検証を行います。

(3)　アクションプランの位置付け

アクションプランは、広島市基本構想（以下「基本構想」という。）及び第６次広島市基本計画（以下「基本計画」という。）に基づき、中期の実施計画として策定したものです。

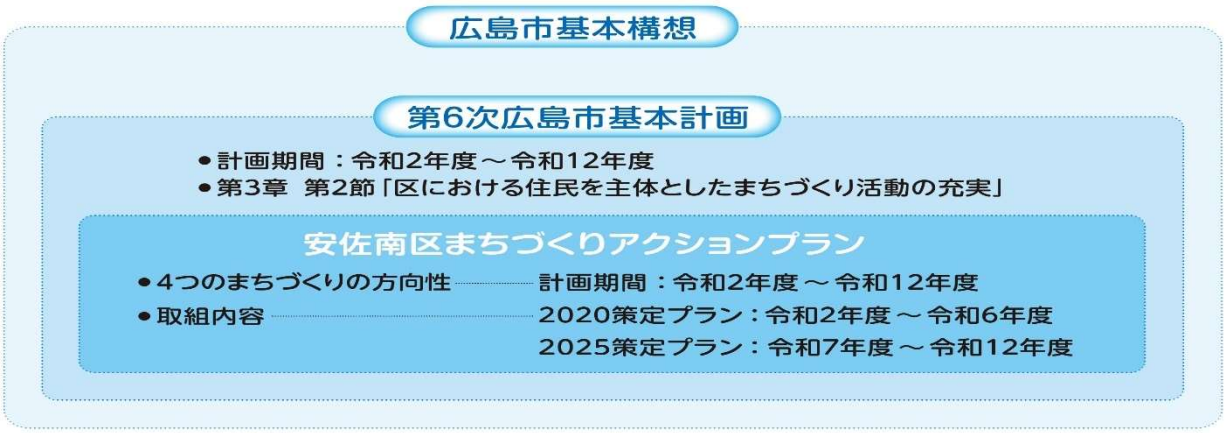

図１　安佐南区まちづくりアクションプランの位置付けのイメージ

(4)　アクションプランの推進に当たって

アクションプランを推進していくためには、行政だけでなく、住民や地域団体、企業、ＮＰＯといった地域全体で取り組む必要があります。このため、様々な主体との連携を図りながら、効率的にまちづくりを推進します。

２　安佐南区の現状と課題

(1)　現状

（ア）地勢

①　広島市域のほぼ中央部に位置しており、面積は 117.03ｋ㎡で、広島市で３番目に広い区です。

②　主な山としては、武田山、火山（ひやま）、窓ヶ山等が所在します。山林面積は、区の面積の約 43%を占めており、豊かな自然環境を有しています。

③　土地利用については、以下の特徴があります（図２参照）。

・　佐東地区、安古市地区、祇園地区には市街地が広がっており、丘陵地には戸建住宅を中心とする住宅団地が造成され、市中心部に通勤・通学する人たちのベッドタウンとなっています。

・　商業・業務施設は、主に山陽自動車道の広島インターチェンジ周辺に集中し、工業・流通施設は、都市拠点として現在も整備が進められている西風新都地区に集中しています。

・　集落地、農地は沼田地区に分布しており、その多くは戸山地区に分布しています。

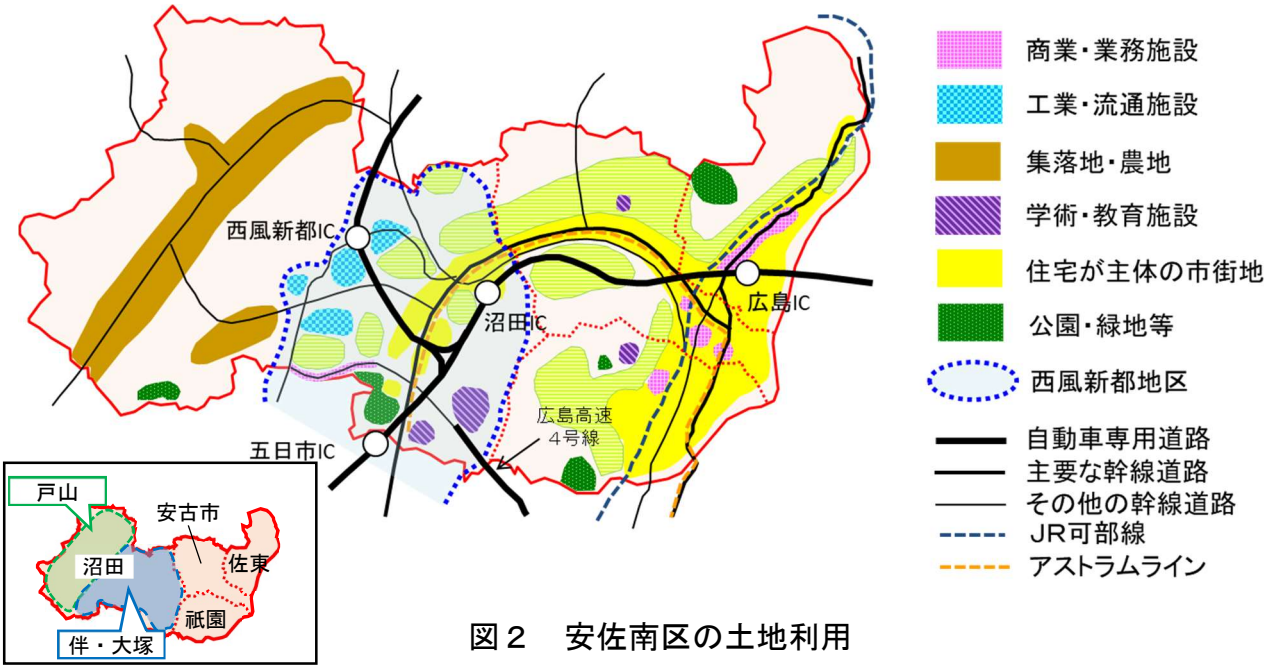

図２　安佐南区の土地利用

（イ）人口

①　人口は 242,683 人、世帯数は 109,779 世帯（いずれも令和６年（2024 年）４月末時点）で、いずれも８区の中で最多となっています。

②　人口増加が続いており、特に沼田地区（伴・大塚地区）の増加率が高い傾向にあります。

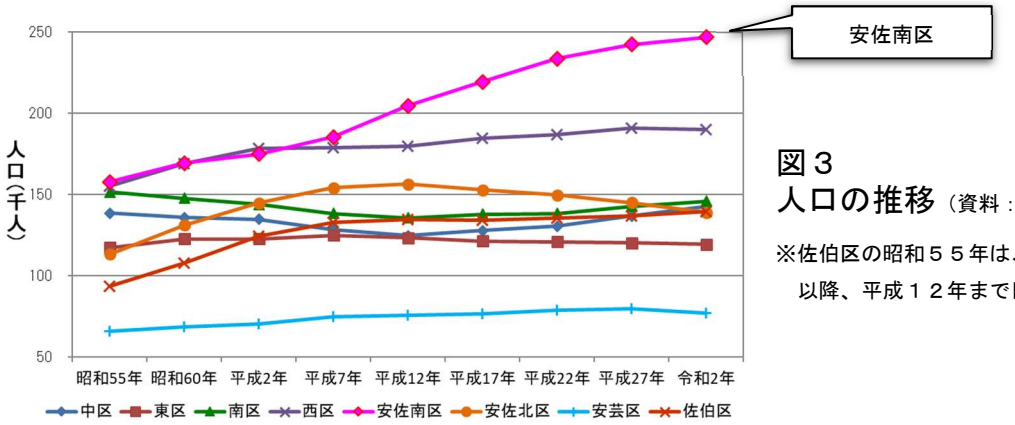

図３
人口の推移（資料：国勢調査※）

※佐伯区の昭和５５年は、旧五日市町と旧湯来町の合計値。
以降、平成１２年まで旧湯来町を含む合計値。

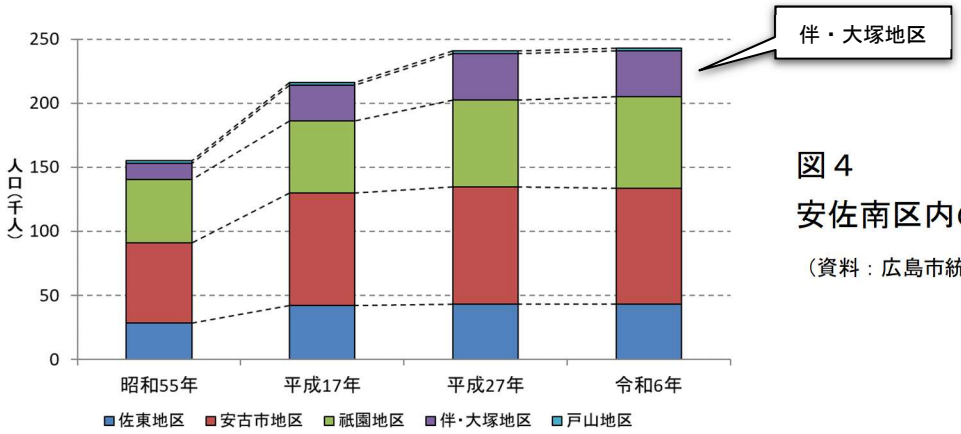

図４
安佐南区内の地区別人口の推移

（資料：広島市統計資料）

③　将来推計によると、令和１２年(2030 年)以降は総人口が減少に転じる一方で、６５歳以上人口の割合は、令和３２年（2050 年）には 31.9%となる見込みです。

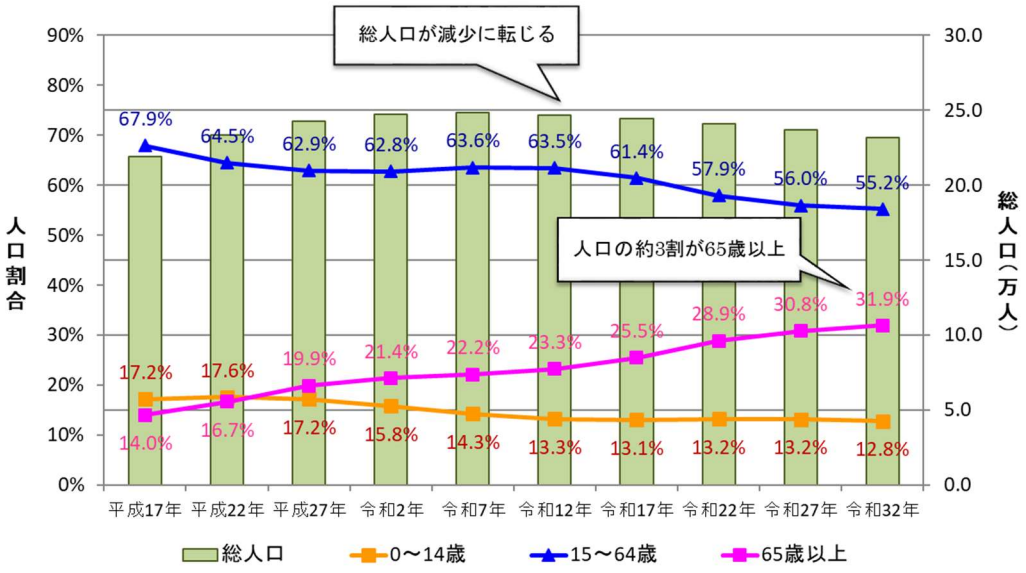

図５　安佐南区の年齢階級別割合の推移及び将来推計

（注）令和２年以前は国勢調査、令和７年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和５年推計）」より作成

（ウ）地域特性

① 安佐南区内とその周辺には四つのインターチェンジがあり、広域的なアクセス性に優れていることに加え、国道５４号、国道１８３号、広島高速４号線等の道路により都心部と結ばれています。また、軌道系の公共交通機関（ＪＲ可部線、アストラムライン）により都心方面と結ばれており、交通の利便性が高い区であるといえます。

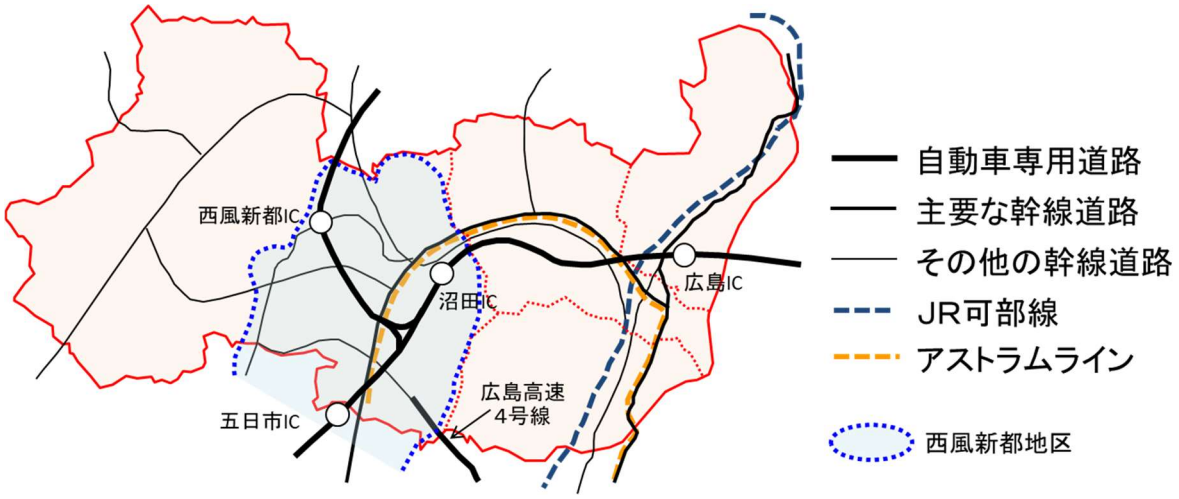

図６　安佐南区の交通

② 安佐南区内の農家数は 335 戸で、広島市全体の 26.2%を占めています。

区内地区別の農家数を見ると、佐東地区が 98 戸と最も多く、次いで、沼田地区（伴・大塚地区）の 83 戸、沼田地区（戸山地区）の 70 戸の順で農家数が多くなっています。

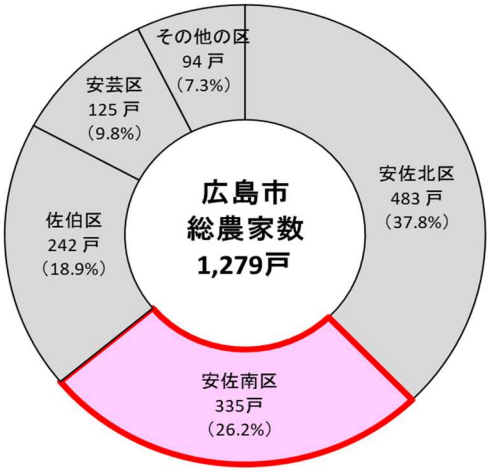

図７　広島市の農家数の内訳

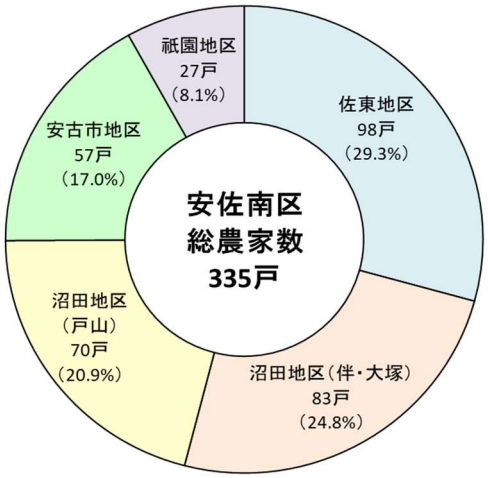

図８　安佐南区の農家数の内訳

（資料：2020 年農林業センサス）

③　区内に大学・短期大学が多く（６大学・２短期大学）所在しており、文教地区としての一面を有しています。

表１　安佐南区内の大学・短期大学

大学名		所在地
大　学	広島市立大学	安佐南区大塚東三丁目
	広島経済大学	安佐南区祇園五丁目
	広島修道大学	安佐南区大塚東一丁目
	広島都市学園大学（西風新都キャンパス）	安佐南区大塚東三丁目
	広島文化学園大学	安佐南区長束西三丁目
	安田女子大学	安佐南区安東六丁目
短期大学	広島文化学園短期大学	安佐南区長束西三丁目
	安田女子短期大学	安佐南区安東六丁目

（エ）コミュニティ

町内会・自治会への加入率は年々低下しており、令和５年（2023 年）時点では 46.8%で、広島市全体の平均の 53.1%を下回り、８区の中で下から２番目の低さとなっています。

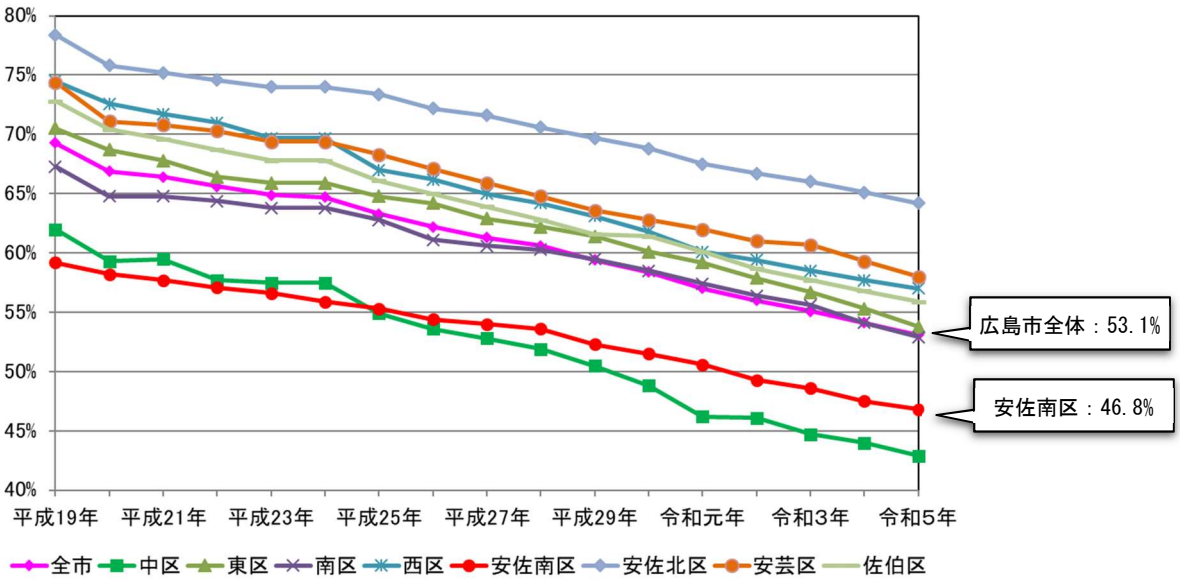

図９　町内会・自治会への加入率

（資料：市民活動推進課、各年の７月１日現在の住民基本台帳世帯数に対する町内会・自治会加入世帯数の割合）

(2) 課題

▽　８区で最も多くの人が住む安佐南区においては、住民がこれからも住み続けたくなるようなまちづくりを進めることが、今後より一層重要となります。このため、これまで以上に地域の魅力と活力を高めるまちづくりを進める必要があります。

▽　少子化・高齢化の進展、マンション居住世帯の増加、ライフスタイルの多様化などにより、安佐南区では、町内会・自治会への加入率低下を始めとして、地域活動の担い手の不足、地域の助け合いの意識の低下など、地域におけるコミュニティ意識の希薄化が深刻化しており、地域の多様な主体との連携・協働を促進する環境を整備し地域コミュニティの再形成に取り組む必要があります。

▽　近年、集中豪雨や台風等に伴う自然災害により大きな被害が発生していますが、安佐南区では、平成２６年（2014 年）８月の広島豪雨災害により丘陵地に造成された住宅地が被災した一方で、同じように丘陵地を造成した住宅地が多く所在することから、今後も同様の土砂災害の発生リスクが懸念されます。また、南海トラフ地震等の巨大地震の発生リスクも高まっていることから、共助の機能の充実・強化を図り災害に強いまちづくりをより一層進める必要があります。

　さらに、災害だけでなく、犯罪や事故が起こりにくく、住民が安全に暮らせるまちづくりを進める必要があります。

▽　男女共に平均寿命が延びている中で、単に寿命が延びるだけでなく、生涯を通じて有意義に過ごすためにも、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」を延ばすことが重要ですが、高齢者数が８区で最多の安佐南区では、その重要性はより高いものとなっており、健康に暮らせるまちづくりを進める必要があります。

▽　安佐南区唯一の中山間地域である戸山地区では、高齢化や人口減少、空き家の増加などが進展しており、戸山地区が持つ魅力の向上や対外的な魅力のＰＲ等を通じた定住促進等の取組により、地区の活性化を図る必要があります。

▽　大学・短期大学が多く立地するという安佐南区の特徴を踏まえ、大学等の多彩な人材や知識を活用したまちづくりを進める必要があります。

3　安佐南区のまちづくりの方向性

安佐南区では、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを目指し、今後のまちづくりについて、次の四つの方向性により進めていくこととします。

	まちづくりの方向性
1	**地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり** 歴史・文化などの地域資源を活用し、住宅団地をはじめとしたそれぞれの地域への愛着と誇りを育むとともに、住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）が協働し、魅力にあふれ、様々な人が訪れるまちづくりを進めます。
2	**みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり** 住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）がそれぞれの立場を担い、協働して地域の福祉や住民の健康づくりを推進するとともに、平成２６年(2014年)８月の豪雨災害などの教訓を踏まえた防災力、犯罪を未然に防ぐ防犯力を高め、誰もが安全・安心・健康に暮らせるまちづくりを進めます。
3	**自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり** 里山や川などの身近な自然を保全・活用し、農林業の振興や中山間地の活性化、住民が自然と触れることのできる環境づくりに取り組み、自然と共に豊かに暮らし、自然を通じて人々が交流するまちづくりを進めます。
4	**地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり** 大学と地域の交流・連携を促進し、大学の知的資源を活用した学びの機会の創出や、大学生のパワーやアイデアを生かした協働の取組により、地域課題の解決を図るとともに、文化的で活力にあふれるまちづくりを進めます。

※　住民等が主体の取組に対する行政の支援例（次ページ以降）
①：区まちづくり支援センターによる支援（相談への助言、制度紹介、講師派遣等）
②：補助制度、物品提供等による支援
③：広報媒体（ホームページ、フェイスブック、区報等）による周知

4　各まちづくりの方向性に基づく取組内容

まちづくりの方向性１

地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり

歴史・文化などの地域資源を活用し、住宅団地を始めとしたそれぞれの地域への愛着と誇りを育むとともに、住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）が協働し、魅力にあふれ、様々な人が訪れるまちづくりを進めます。

(1)　安佐南区の魅力向上の促進

区役所等を魅力的な「まちの顔」に仕立て、住民が地域への愛着と誇りが持てるまちづくりを推進します。

また、地域の行事や季節の便りなど、「まちの情報」として身近な安佐南区の魅力を発信し、地域活動への住民の関心の醸成を図ります。

■　住民に親しまれる区役所づくり
- ◇　広島文化学園大学芸術学部音楽学科との連携による「小さな音楽会」の実施
- ◇　広島市立大学芸術学部との連携による芸術作品の常設展示の実施
- ◇　花いっぱい運動推進委員会との連携による花壇づくりの実施

■　ふるさと魅力化再生事業の推進
- ◇　住民や地域団体などの協力による公共施設での花壇づくりの推進

■　サンフレッチェ広島応援プロジェクトの推進
- ◇　ホームゲームに合わせた区民応援デーの実施

■　住民（マイタウンレポーター）等による安佐南区の魅力の発信
- ◇　区役所公式フェイスブック等の各種デジタル媒体を活用した、住民に身近なまちの魅力の情報発信

(2)　安佐南区の地域資源の活用

（ア）ふるさと安佐南再発見事業

区内の自然、歴史、文化を継承するとともに、それらを活用した新たな魅力づくりと情報発信により、区外からも人が訪れるまちづくりを推進します。

■　区内の自然、歴史、文化の探訪・学習の促進
- ◇　「あさみなみ散策マップ」の改定と公共施設等への配布

■　安佐南区の魅力発見イベントの実施
- ◇　神楽などを始めとする伝統芸能の魅力発信や武田山の歴史に触れながら登山する登山会等、住民等が主体となった、各地区の地域資源を活用する安佐南区の魅力発見イベントの実施への支援（支援例：①、②、③）

（イ）地域資源となる公共施設等を活用した魅力づくり

広島広域公園やアストラムライン等の安佐南区を代表する公共施設等を安佐南区の地域資源として活用した魅力づくりを推進します。

■　ホットスタッフフィールド広島をはじめとする広島広域公園を活用した魅力づくり

◇　安佐南区民交流駅伝大会の開催

◇　サンフレッチェ広島の本拠地移転に伴うホットスタッフフィールド広島の活性化に向けた取組の具体化

■　アストラムライン各駅を拠点とする地域の魅力づくり

◇　事業者等が主体となった、散策マップの作成・配布とガイドツアーの実施への支援（支援例：①、②、③）

■　沼田合同庁舎（通称：火山（ひやま）館）を活用した魅力づくり

◇　住民等が主体となった、１階スペースを活用した地域の交流の場づくりへの支援（支援例：①、②、③）

安佐南区役所“小さな音楽会”

区役所公式インスタグラムを活用した情報発信

公共施設での花壇づくり

芸術作品の常設展示

まちづくりの方向性２

みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり

住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）がそれぞれの立場を担い、協働して地域の福祉や住民の健康づくりを推進するとともに、平成２６年(2014 年)８月の豪雨災害などの教訓を踏まえた防災力、犯罪を未然に防ぐ防犯力を高め、誰もが安全・安心・健康に暮らせるまちづくりを進めます。

(1)　コミュニティ活性化の促進

（ア）公共施設の有効活用

公園などの公共施設において、住民が行う花壇づくりを支援することによって、地域の良好な環境をつくるとともに、住民のコミュニティ活動の活性化を図ります。

■　安佐南区花いっぱい運動の推進
- ◇　公民館での花づくり講習会の実施
- ◇　住民等が主体となった、公共施設における花壇づくりへの支援（支援例：①、②）

（イ）町内会・自治会への加入促進

役員の高齢化に伴う活動の縮小など、様々な課題を抱える町内会・自治会について、加入促進につながる取組を行い、コミュニティの活性化を図ります。

■　加入促進チラシ等の作成・配布
- ◇　加入勧誘を行う町内会・自治会長への加入促進チラシの配布
- ◇　住居番号設定通知書送付時における加入促進チラシの同封

■　マンションを対象とした加入促進の実施
- ◇　マンション新築情報の当該地域への提供
- ◇　賃貸住宅の仲介業者への加入促進チラシ配布の協力依頼の実施

■　「安佐南さわやか あいさつ運動」の実施
- ◇　さわやかあいさつ運動推進大会の開催
- ◇　「あいさつキャラバン隊」による早朝あいさつの実施

■　新任町内会長等への支援
- ◇　新任町内会長等を対象とした情報交換・交流会の実施

（ウ）交流機会の創出

住民が参加しやすい多様な交流機会を創出し、健康増進とコミュニティ活動への積極的な参加を促すとともに、地域、個人の「交流力」を高め、「地域力」の向上を図ります。

■　安佐南区全体を対象とするイベントの開催
- ◇　安佐南区民交流駅伝大会の開催**（再掲）**
- ◇　安佐南区民まつりの開催
- ◇　安佐南区民スポーツ大会の開催

（エ）区民主体のまちづくりの推進

「自分たちのまちは自分たちで創り、守る」という考え方の下、地域特性を生かし、エリアマネジメントの手法などを活用しながら、住民と多様な主体が連携し様々な地域課題の解決に取り組む広島型地域運営組織「ひろしまＬＭＯ（エルモ）」を始めとした地域団体やＮＰＯ、企業等による区民主体のまちづくりを進めます。

■　「ひろしまＬＭＯ」をはじめとした地域団体等への支援

◇　「ひろしまＬＭＯ」の設立・運営支援や地域課題に取り組む地域団体等への支援　新規

■　企業等の地域貢献活動参画の促進

◇　ひろしま型地域貢献企業認定制度の周知等による、地域と企業等の連携の促進　新規

(2)　安全・安心に暮らせるまちづくりの推進

（ア）安心して暮らしていくための環境づくり

子育て世代が地域とつながりを持ち、地域の中で子育てができるよう支援するとともに、すべての人々が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けることができる環境づくりを推進します。

また、企業等と連携し、障害者福祉事業所の自主製品販売の場の提供に取り組みます。

■　切れ目のない、きめ細やかな支援の充実

◇　母子保健と児童福祉の連携の促進（こども家庭センターの運営）

◇　安佐南区支えあいネットワークの構築　新規

◇　在宅医療介護連携の充実（安佐南区地域保健対策協議会・地域包括支援センター等との連携強化）新規

■　地域における子育て環境の充実

◇　安佐南区子育てサポーター（ＡＫＳ）への活動支援

◇　子育てオープンスペース等での多世代交流の実施　新規

◇　転入者への子育て支援施策の情報発信

■　障害者福祉事業所自主製品の販売の場の提供

◇　障害者福祉事業所等が作製したパン等の庁舎及び企業での販売の場の提供　新規

（イ）災害に強いまちづくりの推進

継続的な地域の防災力の向上及び住民の防災・減災意識の高揚を図ることにより、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。

また、災害時に自力で避難することが困難な高齢者、障害者等が、安全に避難することができるよう地域で支援（共助）する体制を整備します。

さらに、各学区内の自主防災組織について、方針決定過程の段階からの女性の参画の拡大を進め、平常時から災害・復旧時までの各段階で男女共同参画の視点を取り入れた活動が行われるよう、自主防災組織の強化を図ります。

■　防災まちづくり事業の推進

◇　自主防災組織が主体となった、防災訓練の実施への支援（支援例：①、②、③）　新規
◇　防災士養成講座の実施
◇　女性地域防災リーダー養成の促進　新規
◇　安佐南区内の公共施設連携事業の実施
◇　公民館との連携による防災・減災講習会の実施
◇　土砂災害の記憶・経験の伝承や防災教育の実施等を目的とした、広島市豪雨災害伝承館の管理・運営

■　避難行動要支援者避難支援事業の推進
◇　避難行動要支援者名簿を基にした支援方法の検討・実施、防災意識啓発用ＤＶＤや映像による地域の災害時対応マニュアルの作成と活用等、住民等が主体となった、避難行動要支援者避難支援事業の推進への支援（支援例：①、②、③）

（ウ）安全なまちづくりの推進

安佐南防犯組合連合会、安佐南警察署等と連携・協力し、住民参加の下、住民の防犯意識の高揚を図るとともに、住民総ぐるみで犯罪の減少に取り組みます。

また、安佐南交通安全協会等と連携・協力し、安全で安心な安佐南区の交通社会を実現するため、住民の交通安全意識を醸成し、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーの実践により、交通事故の防止を図ります。

■　「減らそう犯罪」推進事業の推進
◇　「減らそう犯罪」安佐南区民大会の開催
◇　防犯講習会の実施
◇　自転車盗難防止キャンペーンの実施
◇　事業者等が主体となった、子どもの見守り活動の実施への支援（支援例：①、②、③）
■　交通安全運動の実施
◇　自転車交通マナーアップキャンペーンの実施

⑶　健康に暮らせるまちづくりの推進

「健康で自立した生活を送ることができるまちづくり」を推進し、健康寿命の延伸を目指します。

また、医療機関や企業等多様な主体と連携し、地域全体で健康を支え守るための社会環境の整備を推進します。

■　ライフステージに応じた健康づくり
◇　学校や大学等との連携による健康教育の実施
◇　働く世代における生活習慣病の発症予防
◇　高齢世代におけるフレイル予防と疾病の重症化予防
■　住民の主体的な健康づくりを支える地域づくり

◇　地域とのつながりを強化し、お口の健康フェアやウォーキングフェス等楽しみながら健康になれる環境づくりの推進　新規

◇　高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと暮らしていくための介護予防拠点等の運営支援の充実

安佐南区民交流駅伝

LMO 団体による子どもの居場所づくり

新任町内会長・自治会長研修会

広島市豪雨災害伝承館の管理・運営

「減らそう犯罪」安佐南区民大会

あさみなみウォーキングフェス

まちづくりの方向性３

自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり

里山や川などの身近な自然を保全・活用し、農林業の振興や中山間地の活性化、住民が自然と触れることのできる環境づくりに取り組み、自然と共に豊かに暮らし、自然を通じて人々が交流するまちづくりを進めます。

(1) 戸山地区のまちづくりの推進

安佐南区唯一の中山間地域であり、豊かな自然など戸山地区の環境・人材等を生かした持続可能なまちづくりを推進します。

また、戸山地区と隣接する佐伯区の湯来地区との連携の下、両地区の地域資源や特徴を生かして連携事業を推進することで、地区内外の交流人口を増やし、両地区の活性化を図ります。

さらに、戸山地区内外の人々が交流する拠点の整備を進めます。

■ 戸山地区の魅力ＰＲの推進

◇ お出かけマップ「ぐるりん戸山」の改定と配布

◇ 戸山地区・湯来地区の地域資源や特徴を生かした連携事業の推進

◇ 戸山地区の里山を会場としたにぎわいイベント(Green Slow Fes 等)の実施等、住民等が主体となった、戸山地区の魅力ＰＲの推進への支援（支援例：①、②、③)

■ 戸山地区への定住の促進

◇ 空き家・空き地バンクの運営、移住希望者を対象とした体験ツアーの実施等、住民等が主体となった、戸山地区への定住の促進への支援（支援例：①、②、③）

■ 交流施設の管理・運営

◇ 交流拠点施設、コミュニティ広場の管理・運営

(2) 農林業を通じた交流の促進

安佐南区内の農林業の持続的な振興を図ることで、自然環境の保全につなげるとともに、農林業を通じて人々が交流するまちづくりを推進します。

■ 農林業を通じた体験・交流機会の提供

◇ ボランティアによる海外援助米生産の実施

◇ 休耕田の農地で農作物の栽培を体験する「ふれあい農業教室」の実施

◇ 山林の様々な資源を活用して地域の魅力を体験する「森いきいき里山体験教室」の実施

◇ 農作物の栽培から食までの農村文化を体験する「中王楽農塾」の実施

◇ ボランティアによる「権現山憩いの森整備事業」の実施

◇ 間伐や木材の搬出、薪づくりを行う「戸山で週末林業家体験」の実施 新規

◇ 企業やボランティア等による「ふれあい樹林事業」の実施

Green Slow Fes

お出かけマップ「ぐるりん戸山」

ボランティアによる海外援助米事業

ふれあい農業教室

森いきいき里山体験教室

中王楽農塾

まちづくりの方向性４

地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり

大学と地域の交流・連携を促進し、大学の知的資源を活用した学びの機会の創出や、大学生のパワーやアイデアを生かした協働の取組により、地域課題の解決を図るとともに、文化的で活力にあふれるまちづくりを進めます。

(1) 大学と地域の交流・連携の促進

コミュニティ活動の担い手が高齢化し、まちづくりを推進する若いマンパワーを必要とする地域と、「地域に開かれた大学」を理念に掲げ、地域活動を実践する場を求める大学を結び付け、地域のまちづくり活動の活性化を図ります。

また、区内の大学等の研究者や専門家など地域の人材を活用した、住民が気軽に参加できる生涯学習の場を提供し、住民が豊かに暮らせるまちづくりを考えるきっかけの場とします。

■ 大学と地域の交流・連携に向けた支援

◇ 大学と地域のマッチング事業の実施 新規

◇ 大学と地域の連携のためのプラットフォーム（区内の大学・商工会等・区役所の横断的組織）の構築

◇ 大学生の地域コミュニティへの参加につながる環境づくりに向けて、大学との連携協定に基づく取組やひろしまＬＭＯをはじめとした地域の活動団体との連携の促進 新規

◇ ボランティアスタッフによる「あさみなみ区民大学」の運営

(2) 地学地就の促進

大学と企業の相互交流を促し、互いの「顔が見える関係」を深めていくことにより、地域で学んだ学生が地域で就職する「地学地就」を促進します。

■ 大学と企業の交流・連携に向けた支援

◇ 学生と地元企業との情報交換等を目的としたワークショップの実施

■ 「地就」に向けた支援

◇ 事業者等が主体となった、地元企業によるインターンシップ（就業体験）受入れの促進への支援（支援例：①、③）

地域と大学生のミーティング風景

あさみなみ区民大学

５　資料編

(1)　安佐南区コミュニティ交流協議会　構成団体（順不同）

広島市安佐南区社会福祉協議会
広島市安佐南区地域女性団体連合会
安佐南地区保護司会
広島市安佐南区子ども会連合会
広島市安佐南区民生委員児童委員協議会
広島市学区体育団体安佐南区連合会
安佐南区青少年健全育成連絡協議会
安佐南区いきいきクラブ連合会
広島市安佐南区公衆衛生推進協議会
安佐南区ＰＴＡ連合会
安佐南交通安全協会
広島安佐南交通安全運動推進隊
安佐南防犯組合連合会
安佐南地区更生保護女性会
安佐南区商工会連絡協議会
広島市安佐南区母子寡婦福祉会
広島市安佐南区自主防災会連合会
講師　広島修道大学国際コミュニティ学部　准教授

(2)　安佐南区コミュニティ交流協議会　開催状況

	開催日	議　　事
第１回	令和６年（2024 年） ８月２２日	・安佐南区まちづくりアクションプランの振り返りと改定の方向性について
第２回	令和６年（2024 年） １１月２２日	・安佐南区まちづくりアクションプランの改定案について

登 録 番 号	広 Ｓ１－２０２４－４９２
名　　称	安佐南区まちづくりアクションプラン
編集・発行	広島市安佐南区役所市民部地域起こし推進課 広島市安佐南区古市一丁目３３番１４号 電話（直通）０８２－８３１－４９２６
発 行 年 月	令和7年（２０２５年）3月